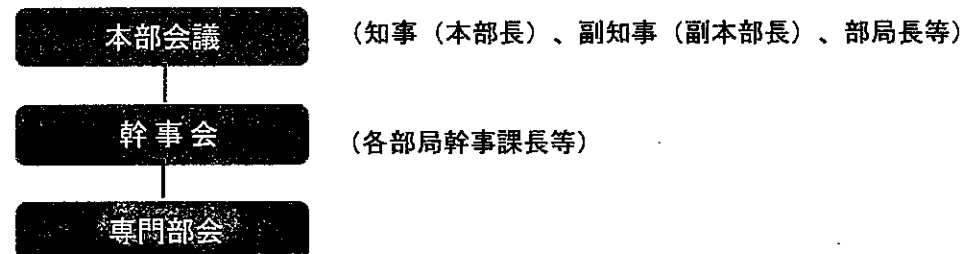


## 山梨県における東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

- H25.9 I O C総会で東京都が2020年五輪の開催都市に決定  
 H25.9~10 内閣官房、文部科学省、東京都がそれぞれ準備組織を設置  
 H25.11 山梨県東京オリンピック・パラリンピック推進本部設置  
 H26.1 大会組織委員会の設立  
 H26.9 全国知事会 推進本部を設置 (H26.11に第1回本部会議開催)  
 H27.2 大会組織委員会 大会開催基本計画を策定し、I O Cへ提出

【目的】東京オリンピック・パラリンピック五輪開催に係る施策を総合的かつ計画的に推進を図る。

【組織】(事務局：知事政策局)



- ①情報収集・連絡調整部会 (部会長所属：スポーツ健康課)
- ②事前合宿等誘致部会 (部会長所属：スポーツ健康課)
- ③観光戦略部会 (部会長所属：観光企画・ブランド推進課)
- ④スポーツ振興部会 (部会長所属：スポーツ健康課)
- ⑤教育・文化振興部会 (部会長所属：教・総務課)

【これまでの検討状況】

- H25.11 第1回本部会議 ①本県の取り組み(推進体制)  
 H26.7 第1回幹事会 ①本県の取り組み ②外国人観光客受入環境整備計画骨子  
 第2回本部会議 // //  
 H26.12 第3回本部会議 ①外国人観光客受入環境整備計画策定 ②事前合宿等誘致  
 ※H25.12~現在 各専門部会 随時開催

## 各専門部会の取り組み

## これまでの取り組み

## 今後の取り組み

## 情報収集・連絡調整部会

- 大会組織委員会、J O C、東京都準備局、各省庁等関係機関からの情報収集
- 情報共有化のための情報システム構築  
市町村、競技団体の情報窓口一元化
- 市町村、競技団体との「情報交換会」の開催(事前合宿等誘致部会との共催)

- 大会組織委員会、J O C、東京都準備局、各省庁等関係機関からの情報収集(継続)
- 市町村、競技団体等への情報提供

## 事前合宿等誘致部会

- オリンピック事前合宿等誘致基礎調査  
○県内スポーツ施設状況調査  
○先進事例調査
- 「情報交換会」の開催(再掲)
- 市町村、競技団体への意向調査  
○研修会等の開催

- 大会組織委員会が実施する事前合宿候補地募集への対応(市町村、競技団体調整、支援)
- PRの準備(コンテンツ作成等)
- 連絡会議(仮称)の設置

## 観光戦略部会

- 外国人観光客受入環境整備計画策定
- 東京都多言語対応協議会への参加

- 外国人観光客受入環境整備計画関連事業の実施

## スポーツ振興部会

- 五輪開催を契機とした県民のスポーツ実施率向上に向けた取り組み
- 身近な地域スポーツ促進事業
- レクで丸ごと学校元気アップ事業

- 県民のスポーツ実施率向上に向けた事業実施(継続)
- 競技力向上(選手強化)
- スポーツイベント(関ブロ、冬季国体、高校総体)開催準備

## 教育・文化振興部会

- 文科省、文化庁発表プランの情報把握
- 「新やまなしの教育振興プラン」との関係性を踏まえ、五輪関連事業の検討

- 教育・文化関係五輪関連事業実施
- 国・組織委員会が実施する文化プログラムとの連携

## その他

- F S C認証材利用促進に関する大会組織委員会等への要望活動

- 五輪開催を契機とした県産品の活用・PR方策の検討

## 事前合宿等誘致の取り組みについて

## 事前合宿等誘致部会

### 事前合宿（事前キャンプ）とは

◇各国・各地域の選手団※が任意で実施する大会期間前のトレーニング（合宿）

※ 各国・各地域の国内オリンピック委員会（NOC）及び国内パラリンピック委員会（NPC）は五輪大会に選手を派遣し、参加する義務を負っている。

- ☞ 任意実施であり、合宿の実施、時期、規模、場所等の一切は、選手団が決定する。
- ☞ 合宿に係る責任と費用負担は選手団が負っている。

◇大会組織委員会の管理で行われるものではない。

- ☞ 誘致に係る責任と費用負担は誘致する自治体が負う。

### 事前キャンプ候補地の情報

◇大会組織委員会が作成するガイドを通じて全NOC、NPCに情報提供

- ☞ 応募要項に基づいて集約した候補地をガイドにまとめて情報提供
- ☞ ガイドには基準をクリアした施設のみ掲載（H28.8 リオ五輪開催に合わせ公表）

◇全国知事会の推進本部においても情報発信

◇誘致希望自治体が各自の方法により情報提供

- ☞ 各自の媒体や情報ルートを活かして情報提供（方法は多種多様）
- ☞ 組織委員会が定める基準の適用を受けない

### 意向調査

○ 2020東京オリンピック・パラリンピックにおける事前合宿等誘致に係る意向調査（現時点における、事前合宿等誘致に関する意向を把握）

◇現時点で、9つの市町村が事前合宿の誘致の意向を示している（H26.12.10現在）

富士吉田市	山梨市	南アルプス市	北杜市
甲斐市	笛吹市	山中湖村	富士河口湖町
小菅村			

◇競技・種目については、検討中

### スケジュール

#### 大会組織委員会関係

◇事前合宿の候補地の募集・公表に関するスケジュール

H27. 1. 15(木) 応募要項発表 → 県内市町村に周知  
H27. 2. 2(月) 市町村向け 研修会・個別相談会 → 実施  
H27. 2. 13(金) 都道府県向け 説明会 → 県担当が参加  
H27. 2. 24(火) 市町村向け 説明会① → 複数の市町が参加  
27(金) 市町村向け 説明会② → 同上  
3. 2(月) 市町村向け 説明会③ → 同上

H27. 3. 20(金) 意思表示申請書の受付開始（～H30.7末）

H27. 4. 1(水) データ登録受付開始（～H30.9末）

H28. 8. 国内事前キャンプ候補地の情報提供開始

・Tokyo2020事前キャンプ候補地ガイド（紹介リスト）掲載情報に関する募集スケジュール（大会組織委員会HP H26.10.6）

・Tokyo2020事前トレーニング（キャンプ）に関する国内キャンプ候補地ガイド掲載応募要項の説明会開催（全国知事会経由 H26.12.10付）

#### 県内関係団体連携

◇県（推進本部） ・大会組織委員会（全国知事会）と市町村との情報窓口  
・県内における情報交換会、研修会、相談会等の開催  
・市町村と競技団体との調整（マッチング）等

◇市町村 ・大会組織委員会主催の説明会への参加（課題等整理）  
・観光事業者との連携

◇競技団体 ・募集要項（施設基準等）に関するアドバイス  
・事前合宿等受入市町村への協力

- 事前合宿等の誘致に向けた基礎調査の実施
- 調査結果については、市町村や競技団体と情報共有

#### 県内スポーツ施設状況調査

◇事前合宿等の誘致が可能な県内スポーツ施設の状況を調査

#### 先進事例調査

◇2008北京オリンピック競技大会の際、事前合宿を受け入れた先進事例を調査

福岡市 スウェーデン  
水泳、アーチェリー、サッカー（女子）、レスリング、陸上競技 等（11競技）

香川県 フィンランド、デンマーク、エストニア、エジプト  
陸上競技

※ フィンランド：カヌー、ボート

関係団体との連携 ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功への協力  
・地域づくりへの活用（レガシー）  
・スポーツへの興味・関心の高まりによる健康づくり

◇事前合宿等誘致基礎調査結果の報告

- ・県内スポーツ施設状況調査
- ・先進事例調査

◇事前合宿等誘致に向けた想定スケジュール

- ・大会組織委員会の募集スケジュール
- ・事前合宿等誘致に係る意向調査